

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年十一月十一日

昭和三十三年九月二十日第三種郵便物認可  
昭和三十三年十月十一日發行  
毎月一日、十一日、廿一日發行

郵便貯金に現はれたる銃後の赤誠

(逓信部爲替貯金課)

最近の厦門

(臨時情報部)

地方情報

(州・廳臨時情報部)

海外情報

(臨時情報部)

華僑情報

(臨時情報部)

附錄事變日誌

第十四號





奉の汗〃てしと現其力神精。るあで合綜の力神精と力済程と備軍は力防國  
 感の時常非國皇し指目を母の代次へ加を金鐘に金影表のりよ部軍てに〃仕  
 〇たし納獻を籠燈石に地墓軍陸日九る去は達生女高各北峯るへ震に激



は伴に生先も童兒の園稚幼。る上は關太の本日義正。に森の園物植。朝  
 か駁。るす願祈を久長運式の人軍征出に並巖平の人軍視傳に社神功建れ  
 〇魂るず通に天誠至。頭るげ下に

「幼  
 な  
 心  
 も  
 動  
 く」

## 郵便貯金に現はれたる銃後の赤誠

逓信部爲替貯金課

曩に、政府の八十億圓を目標とする國民貯蓄獎勵運動に相呼應し、本島に於ては五千萬圓を目標として貯蓄運動に邁進することとなり、殊に去る六月二十一日より一週間に亘つて實施せられたる貯蓄報國強調週間に契機として更に此運動に拍車をかけられたのであるが、爾來既に三箇月餘を経過したる今日、此期間中に於て此官民一致の國民運動が本島郵便貯金の上に果して如何なる成果を齎し得たるかを一應検討し、同時に又本年度上半期を通じての其成績を省みて、以て貯蓄目的遂行の爲め参考に資したいと思ふ。

内地に於ける國民貯蓄の成績は極めて良好であつて、國債の消化も頗る順調であることを聞くのは洵に欣ばしい次第であるが、本島に於ける貯蓄は果して豫定通りの実績を挙げつゝありや否や。民間の貯蓄に付ては姑く別とし、郵便貯金にありては左に述べんとするが如く、今日までのところ幸にして至極順調なる過程を辿りつゝあるものと言ふを得べく、洵に同慶に堪へなす。



(掛金貯部信逓)る贈も胸ばへ思と公奉の後銃も務事金貯るせ増激

抑々、曩に本島に於ける此一箇年間の貯蓄増加の目標を五千萬圓と定められたるに對して、此内郵便貯金としての吸収額の目標を如何に定めたかと言ふに、右の五千萬圓なる目標は本島に於ける最近一箇年間の各種貯蓄の自然増加二千五百萬圓の倍額といふことに決定せられたものであるから、郵便貯金に於ても亦之と同じ趣旨に従ひ、最近一箇年間の郵便貯金の自然増加額は約二百三十萬圓であるから、此自然増加額の倍額即ち四百六十萬圓を以て其の目標とすることゝなつてゐるのである。

さて、先づ第一に、過般の貯蓄強調週間以後に於ける郵便貯金の状況を見るに、該週間實施の前日たる六月二十一日現在に於ける現在高は

人員 六三九、一九一人  
金額 二七、四二七、九八一圓

であり九月三十日現在に於ける現在高は

人員 八二八、一五九人  
金額 二九、七九五、六七七圓

であつて、此の僅か三箇月餘の短期間に

人員に於て 一八八、九六八人  
金額に於て 二、三六七、六九六圓

を増加して居り、其増加割合は人員約三割、金額八分六厘強といふ著しき躍進振であつて、茲にも銃後島民の赤誠を如實に示してゐるものと言はねばならぬ。

更に年度初頭に遡り、本年四月以降今日に至るまでの郵便貯金の状況を各月別に表示すれば左の如くである。

最近月別貯金現在高表

昭和十三年	年 月	人 員	金 額	前月ニ比シ増△減	
				人 員	金 額
三 月 末		六三一、六三三	二六、三九一、九六一	一、四五四	△ 二三六、五五七
四 月 末		六三五、六七五	二六、三九三、一〇〇	四、〇四二	一、一三九
五 月 末		六四三、四三〇	二六、五四八、六四五	七、七五五	一五五、五四五

昭和十三年	年 月	人 員	金 額	前月ニ比シ増△減	
				人 員	金 額
六 月 末		六五八、〇七七	二七、五九〇、一八九	一四、六四七	(一〇四一、五四四)
七 月 末		七四一、九六六	二八、四五二、六三六	八三、八八九	(二九八、六二九)
八 月 末		七九七、二二八	二九、〇九七、六六二	五五、一六二	八六一、四四七
九 月 末		八二八、一五九	二九、七九五、六七七	三二、〇三二	六四六、〇二六
					六九八、〇一五

(本表中六月の前月に比し増減欄中括弧内に記せるは、同月初に於て昭和十二年度元加利率子七五七、三五二四の計上を見たと、國庫歸屬處分に附したるもの人員九、一二四人、金額一四、四二七四あるを以て、之等を差引計算して實質的の増加となるべきものを表はしたものである。)

右表に依て明かなる如く、現下時局の進展に伴ひ今春以來國民貯蓄の必要なる所以が全國的に強調せらるゝや、本島々民の貯蓄意識も翕然として昂まり、人員に於ても金額に於ても五月に至つて俄然著増の趨勢を現はし、六月の貯蓄強調週間を迎へてからは加速度的増加を示し、七月に至つて遂に其最高潮に達せることが判るのである。尤も七月といふ月は、由來貯蓄の増進を見るを例としてはゐるが、それにしても本年の増加(金額)は僅に平年の二倍を超えてゐるのである。而して此増加の割合は七月を峠として八月及九月は幾分降り氣味となつてゐるけれども、例年八月及九月は概して平調を例とするのであるから、夫れにも拘らず本年に於ては右表に見る如き増加を示してゐることは、大いに意を強くするに足りるものと思ふ。

右の如く本年度初頭以來九月三十日に至るまで即ち本年度上半期間に於ける郵便貯金の実績を總括すれば、現に十二年度末現在に比して

六

人	員	一九六、五二六人
金	額	三、四〇三、七一六圓
人	員	二〇五、六五〇人
金	額	二、六六〇、七九一圓

の増加となるが、前記の元加利子及國庫歸屬處分人員並に同金額を計算に置くときは

の増となり、當初の貯金増加目標たる四百八十萬圓の半は既に獲得せられたる理である。然し乍ら、從來の多くの年の例を見れば、その年度の前半に於けるよりも寧ろ後半に於て貯金増進の困難を感せしむるものがあるから、右の如き成績を以て未だ遽に樂觀することは許されないのである。

次に、今回の國民貯蓄に於ける著しき特徴として述べたいのは、新規預入者が未曾有の激増を來した一事であつて、之は本島郵貯史上に特記せらるべき事柄であらう。右にも述べたる如く、本年三月末現在と九月末現在とを比較するに、人員の増加二〇五、六五〇人となつてゐるけれども、此數は其期間内に於ける全拂人員その他を差引した正味の現在人員の増加であるが、新規預入者の數は之よりも遙に多くて同期間に於ける其總數は、二三五、四四五人となつてゐる。

る。而も此内約一九五、〇〇〇人は六月二十一日に始つた貯蓄強調週間以後九月末に至るまでの三箇月餘の間に於けるものと見ることが出来る。最近に於ける新規預入状況を見るに

昭和十年	九〇、〇〇七人
同 十一年	八九、四四八人
同 十二年	八一、一〇八人
同 十三年四月	八、五四九人
同 五月	一一、二九三人
同 六月	四三、四八三人
同 七月	八三、九二一人
同 八月	五三、六二六人
同 九月	三四、五七三人

(本表は窓口受付月別にして前掲の現在高表は原簿受付月別となれるにつき兩者多少の喰違ひあり)

右表の如きものであつて、最近一箇年間に於ける新規預入者は八萬乃至九萬人程度、一箇月平均七千二百人内外といふところであるが、本年七月の如きは僅々一箇月の間に殆ど平年の一箇年分にも該當する新規預入者があつた有様である。

七

此の夥しき預入人員の増加は、主として各種貯金組合の結成によつて組合員各自が新規通帳に依り新に預入を開始したものであつて、島民の貯蓄報國の意氣旺盛なる事實を物語るものとして欣快に堪へないところであるが、又一面、此點に於て相當考慮せねばならないものがあると思ふ。即ち第一には、此新規の小口預入の著しき増加は必然に人員と金額との間に跛行的關係を生じ従て貯金の質の低下を招來し、現に預入一人當り預金額は、三月末現在に於て四十一圓七十八錢なりしものが、九月三十日現在に於ては三十五圓九十七錢に低下してゐるのである。然し、之は過渡期に起るところの一時的現象と見られるが、之が恢復には新規預入者が預入を繼續して怠らぬ様にする必要があるであり、貯蓄獎勵運動の目的も亦其處にあるものと思ふ。元來臺灣に於ける郵便貯金の預入一人當り預金額は、内地其他に比して劣勢にあるのであるから、質の向上に付ては一層の努力をしなければならぬ。

尙一つ考へられる點は、新規通帳に依る預入も洵に結構ではあるけれども、貯蓄獎勵の趣旨は専ら預金額の増加にあるのであり、且又物資節約と言ふ觀點からしても、現に所持せる通帳を活用し得る場合は之を活用することとし、假令團體貯金の場合と雖も必ずしも新規の通帳を以て揃へる必要はないのではないか。又一人或は一家にして甲の團體にても貯金をし、乙の組合にても貯金をし更に丙の會でも貯金をして夫々別の新規通帳を所持するといふが如き例が多くはないかと想像されるのであるが、斯る場合に於ては可能なる限り之を一箇に纏めて貯金を

することとすれば物資の節約ともなり、手数の省略ともなるのである。勿論郵便局と言はず常部と言はず貯金事業に従事する者は、今日事務の異常なる激増に依る勞の如きは統後の御奉公として益々勇躍こそすれ毫も之を厭ふところでないとは言ふまでもないが、出来るだけ物資を大切にして縦ひ一冊の通帳と雖も節約し得るものは節約するのが國策に沿ふ所以であらうと感ずる次第である。

郵便貯金には所謂睡眠貯金と稱して一年以上に亘つて全く預入もせず拂戻もせず既に忘れられた如き貯金があるが而も其數は極めて多く貯金總數の半數にも達する有様である。現時の如き際に之等の通帳を明るみに出してやつて有効有能に活躍せしめたいものである。又今回發行された多數の新規通帳に付ても之等を一回二回の預けきりにして所謂睡眠貯金となすが如きこととなく、終局の目的を達成するまでは絶対に預入が繼續せられるやう希望に堪へぬ。現に前述の貯蓄強調週間以後現在(九月三十日)に至るまでの新規預入者約十九萬五千人の中其過半數の十一萬人は之を据置貯金又は規約貯金として居り以て覺悟の程を窺ふに足るのであるが、問題は長期繼續といふ點にあるのである。此點に付ての各方面の御努力を願はしく思ふ次第である。

尙、右の十九萬餘の新規預入者に付、試に之を内、臺、高人別及團體別に分類すると左の如き状態となつてゐる。

一、内・臺高人別表

内地人 五六、三九八八  
本島人 一三〇、六五八八  
高砂族 一〇、七三三八  
合計 一九七、七九四八

二、團體別表

學生生徒 六〇、九五一人  
官公吏 二三、九七七人  
會社員 一一、三八八八  
其他の團體又は組合員 五〇、四一二二  
個人 五一、〇六六六  
合計 一九七、七九四八

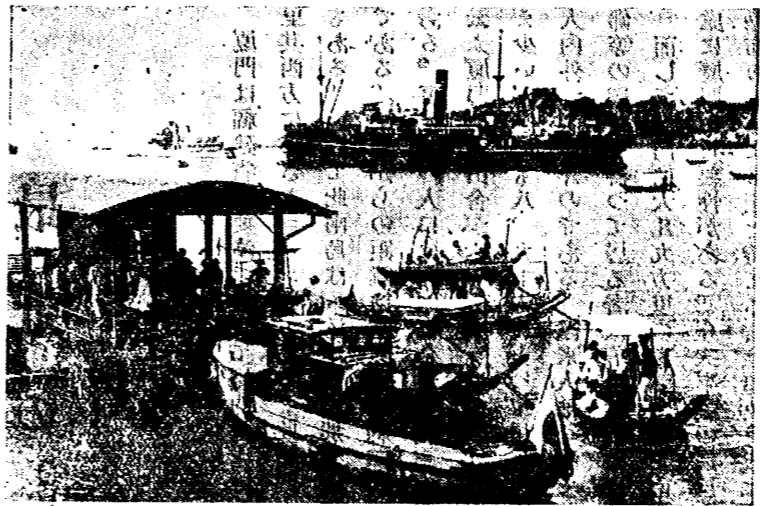
之を要するに、本島郵便貯金の現在までの状況は成績良好であつて、一路國策の線に沿つて邁進しつゝあるものと言ふことが出来るのである。  
尙本文中に掲げた各表の數字は總て概算である。

## 最近の厦門

臨時情報部

厦門は福建省の要港であつて厦門島とコロンヌとからなつて居る。島の大きさは厦門島の方が約九方里其西方に小さなコロンヌがある。此厦門とコロンヌの間が自然の良港になつて居り、水深は七十尺もある。而して此兩島は入込んだ支那大陸に近く圍まれ近きは千米内外を隔て、居るに過ぎない状態である。臺灣からの距離は基隆から約二百二十哩高雄からは約百七十哩といふ所謂一衣帶水の近きにある。事變前の人口は此兩島合せて約三十萬と云はれて居る。其内譯は厦門市街が約二十萬禾山區と云ふ厦門島の田舎が六、七萬コロンヌが三萬位であつた。その中に留日本人は多いときには一萬を越え少いときでも八、九千人に上つて居り、之等在留日本人の大多數は、本島人であり、内地人は五百人内外であつたのである。歐米人は全體で凡そ二百人、支那人であつて歐米の國籍主として英、米、佛等の國籍を持つて居る者は五〇〇人ばかり居つた。

而して厦門は大凡九方里の島であつて南洋數百萬華僑の出入の門戸として繁昌して來たのであり其處に厦門の重要性がある。今次事變の進展と共に厦門は何時日本軍の攻撃を受けるか分らないといふ恐怖の爲めに資産を持つて居る者は追々と或は大陸に或は香港に遠くは南洋各地に逃げ出して身の安全を



廈門鼓浪嶼往來多日每日風景之門廈港易貿  
の民良賢一し増を性明に毎日常風之門廈港易貿  
。たつなく多も來往同嶼浪鼓門廈

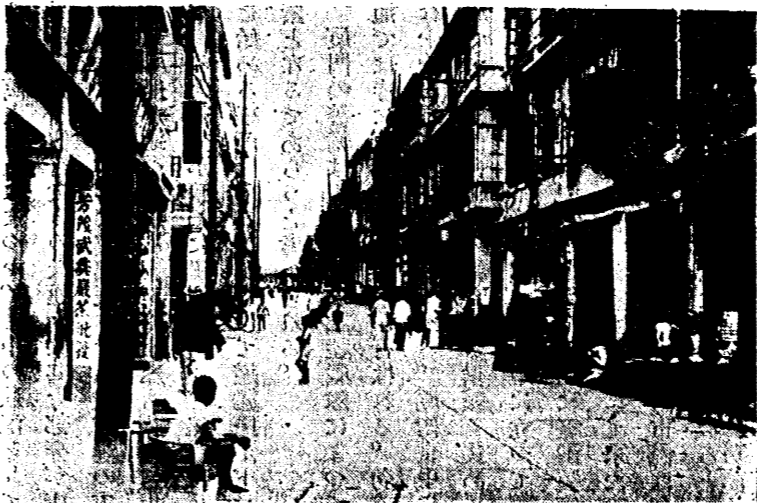
計るといふ戦々競々たる有様で我軍が之を攻略する迄に既に其人口の約半數が他に避難した様である。而して去る五月十日未明突如我が陸戦隊が五通方面に勇猛果敢なる敵前上陸を敢行するや廈門住民は恐愕處を知らず我先を争つて共同租界たるコロンヌに逃げ出しコロンヌから大陸へ、或は香港へ或は南洋へと逃げてしまつたのであつて繁榮を誇つた廈門の人口も一朝にして二萬人足らずに激減してしまひ、しかも残つて居る者は大體に於て貧民階級に屬する者が多かつたのである。

皇軍が廈門を占領した直後の頃はコロンヌだけでも六・七萬の避難民が逃げ込みさらでだに狭若しきコロンヌの人口は在來のものを含せて十萬人を越え人間で一つばいとなり道路や海岸にゴロ／＼轉つて寢て居る者もあつたが、其の後一日と力強い復興の歩みが続けられ九月末には廈門へ復歸した者に凡そ六萬五千人であつて逃げずに残つて居た者と合せ

ると八萬人以上になつた。市中の状況を見ても大漢路とか思明西路、東路、南路、北路、大同路、昇平路、其の他目抜きの大通りは其大部分が店を開けて商賣を始めて居り、當初の頃の町の町に近きものと較べると非常な復興振りである。港の方も相當賑つて來て臺灣からは福建丸長沙丸が回航し上海からも船が通つて居り、又外國船も相當に出入して居る。殊に廈門市民にとつて運が良かったことは市街の大部分が戦禍に罹らず殆んど壊れて居なかつたこととこの爲めに市民は復歸すると同時に仕事を始める事が出来る。かくして避難民がドン／＼歸つて急速に廈門がその繁榮を回復し得る一つの要素となるであらうと考へられる。

廈門の警備は現在では勿論陸戦隊によつて確實に保持されて居り廈門島の最も大陸に近い高崎や五通では時に對岸に對し砲撃が行はれる。勿論大陸との交通は隔絶され必要ある場合には砲撃が加へられ十分なる警戒が拂はれてゐる。廈門市中には要所々に陸戦隊員が武裝して警備に當り然も軍規嚴格であり自然に市民の絶大な信頼を集めて居る。治安はこの海軍の力と共に警察によつて十分に保たれる。勿論占領後の混沌たる中に立つて警察行政こそは最も先きに整備され機能を發揮するを要し占領直後その治安の回復維持の爲に臺灣警察界から多數の有能な人々が出掛け、之に當つたのであるが、其後治安維持會の警察も整備して來たので我が警察指導の下に治安の維持に任じて居る。この陸戦隊の警備と警察の力によつて廈門市内は勿論島内何處へ行つても全く安心して歩くことが出来る。次に廈門の治安維持會について述べると廈門に於ても占領直後の應急措置として又復興第一歩の工作として北支那中支那各地で行はれたと同様に治安維持會が六月二十日に設立された。治安維持會は





往來繁し元開きの路の昨今

其の名の示す如く其の占領地に於ける治安維持を目的として居るが便宜上厦門では行政一般の運行をも之が司るのであつていはば暫定的な政府なのである。其の組織は會長の下に秘書處、參事室、財政科、交通科、社會科、警務科、水警處があり夫々處長又は科長があり事務を分掌する。會長は現在缺けて居り洪月楷氏が會長代理の名目で會長の事務を取扱ひ各科長も多くはもと支那政府の役人をして居つた人である。即ちこの治安維持會は百般の行政につき我が方と十分力を協せ治安の維持の外産業の回復に、教育の再建に全力を擧げて居り本府に於ても一般民政に關し種々な方面の専門家を或は指導官として或は調査員として派遣し電信電話の爲には遞信部の派遣員が活動をなし又民間からは福大会社が進出して水道電燈等の經營をなす市民の便益を計つて居る。

この復興建設の仕事は仲々思ふ様には捗り難いのであるが、その理由は第一に混亂破壊の中に新しい秩序

新しい組織新しい市街を建設するのであるが故にそこに敏捷正確の判断を要し而かも実行力を要する。第二に言葉の關係で自然事務の連絡が悪くなる。第三、日本風な行政組織と違ふ點があるので無暗に獨斷を許さない。第四、財政の自立が出来て居ない爲に必要な人員を其の質に於ても人數に於ても集め難い。第五、は市民中資産ある階級有識階級は多く未だ歸還せず、大陸、香港、南洋各地に散在し無産下級階級が多いこと等を理由として算へることが出来るであらう。

學術教育の方面に就て述べると占領前厦門大學があり各省から七百名餘りの學生が集まり文學院、法學院、理學院、教育學院、商學院の各科に分れて居つたがこれは北支那、中支那の大學と同様に抗日思想の源泉であり、事變と共に敵の軍事施設に利用された關係上我が攻撃を受け正確な砲撃の爲めに屋根などを砲弾に打ち抜かれ學生は多くは敵軍と共に逃亡してしまつた。中學は十四校程あり生徒は凡そ二千名位居つたのであるが何れも厦門大學と類似の状況で目下閉鎖の状態である。之等大學中學に付ては將來十分考究を重ね眞に文化の中軸として價値あらしめ又堅實なる思想を養ひ從來の空理空論、反日思想を一掃するの要がある。事變前、小學校は七十五校あり兒童は凡そ二萬人位であつたが最近群惠小學が開校せられる運びとなつて居る。

日本側の學校を見ると旭瀛書院も日本小學校も既に開かれ兒童も復歸民の増加するにつれ日一日と多くなり又支那人であつてその子弟を日本側學校に入學せしめんと希望してゐる父兄も少くないのである。現在旭瀛書院は三百人、日本人小學校は四十人程である。又最近市中に於ても北、中支と同様に日本語講習所の様な機關が次第に多くなりつゝあるのは日支提携と云ふ大目的に實質上一步を進めつゝ、



善親解理の互相華日てげ掲く良仲を旗極太と旗章日  
院戲江鶯營市 ○たし業開くし々華とりよ畫映は

あるものとして喜ぶべき現象と云ふ事が出来る。  
次に新聞について述べるならば従来星光日報、  
江聲報、民國日報、華僑日報、思明日報、全閩新  
日報を除く外は總て排日新聞であつたのである  
が、厦門占領により之等の新聞は全部なくなり只  
今では全閩新日報と最近出来上つた復興日報の二  
紙であり厦門の報道陣論壇としては先づ先づ此の  
二紙によつて市民の慾望を充して居るのである。  
厦門島内の交通機關はバス、タクシーと人力車  
でありバスは約七臺タクシー約十臺である。人力  
車は最近相當數が多くなり復興の進むと共に人力  
車數も増加しつゝあり一般市民の交通には何等の  
不便もなく、車賃も支那流に安いものである、厦  
門とコロンスとの交通は澤山の船版が往つたり來  
たりして居るが治安維持會は新にモーターボート  
三艘によつて渡船を經營、何と言つても船版とは  
速力が違ふので絶えず滿員の盛況を續けて居る。



此がるあでのもなん盛る顔は熟語本日の間衆民人那支門厦  
同一幼老所たれか開が會習講語本日に山禾てじ應に望要の  
式會開は眞寫。るあでき心熱るす會に

この船版又はモーターボートに依つて鼓浪嶼  
側に渡ると堤坊一帶の上に小さいな藁小屋が  
長く三列に列んで建てられて居るのが見える。  
これこそは先に述べた鼓浪嶼へ逃げこんだ難民  
を救済する爲めに國際救濟會が急造した避難處  
である、この海岸の藁建小屋の中に凡そ一萬五  
六千人の難民が、老も若きも男も女も、ゴツチ  
やになつて晝と言はず夜と言はず或は寢轉んで  
古きたない小説本のようなのを讀んでゐる者だ  
らしなく寢をべつてゐる者など全く亡國の民と  
いふ感じのびつたりと來る光景を現出して居る  
のである。鼓浪嶼にある旭瀾書院の分館に行つ  
てみてもあの大きいガランとした建物の中に千  
人以上の男女が晝の日中寢をべつて希望を持た  
ぬ懶惰の性格をまる出しに暮して居るのであ  
る。これ等の難民は國際救濟會から一日に三度  
粥の施しを受けそれで生きて居るのであり、國



## 州・廳臨時情報部

### 臺南州の死蔵金活用運動の指導

〔臺南州臨時情報部來報〕 臺南州廳では死蔵金活用運動に關し一般大衆の理解に依り良好の成績を挙げつ、ある情勢に順應し、九月十二日より臺灣銀行臺南支店に於て鑑定人を配置し買上代金の即時拂を開始せるが同支店の取扱區域は臺南、高雄兩州下に亘り之等より一時に多量の金を持ち込む時は鑑定機能を喪失する結果ミなる故日割により之を調整するこゝし尙賣却代金は出來得る限り市場に流出するを防ぎ貯金又は公債購入に充當する様極力指導獎勵に努めつ、ある。

### 遺家族へ氣持のよい住宅を

#### 愛婦臺中支部の活躍

銃後の護りに完璧を期してゐる愛國婦人會臺中州支部では臺中市新高町の縦貫道路東側七百四十六坪の地域に軍人遺家族住宅を建設するこゝし、なり、二十九日午前地鎮祭を執行した。

この建物は三棟十二戸、それに事務室兼相談室、授産輔導室、娛樂室、浴室などを含む本館一棟で總工費は約四萬圓である。

一八  
際救濟會は一日一人十錢の救濟費を出して斯る人々凡そ三萬人に食を與へて居るのであるが、斯る方法による救濟が結局いつ迄續けられるものでもなし又本當の救濟にもならないことは勿論である。殊に夏の間は兎に角、秋となりやがて冬にもならばおそくは寒さの爲めに非常な若しみを受けるであらうと思ふのである。これに對し日本側としても治安維持會に於ても目下三萬人全部と行かずともその大多數の者に厦門に歸つて來て職を與へてどうかうにか食べて行けるような救濟の方法を講ずべし案を急いで居るのであり近くその實行に着手し得るであらうと期待して居る次第である。

以上の様な實情であつて復興に就ては色々の見方もあると思ふが占領後約四箇月にしては先づ良好なる復興振りをを見せて居るのである。

臺灣と厦門との關係は人情風俗言語の點から見ても其の距離の點から見ても最も縁の深い所である。事變前に於てさへ南支中厦門に最も多くの日本人が臺灣から出かけて居たのである。即ち臺灣から厦門に進出するのは自然の勢であると思ふ。而して我々は今後の厦門は事變前のそれよりもつとゞ立派な明朗なる厦門を作り上げなければならぬ、そして日支の完全な提携を築き上げなければならぬ。之が即ち臺灣の使命であり亦臺灣を働かしむることが最も有效な方法と言はざるを得ない。

金總動員白熱化

買上げ二千萬圓突破

各地に於ける 總動員運動はますます上昇の一途を辿り國民銃後の赤誠を示しつつある。即ち臺灣の金買上げは遂に九月三十日二千萬圓突破の大記録を樹立するに至

り關係筋を痛く感激せしめてゐる。尙臺灣への金買却は最近ますます旺盛で早朝より門前に待受ける者もあり、三百名を限つた一日の受附客は午前八時銀行開店前に既に締切られる云ふ有様である。因に開始以來最近迄の取扱状況は左の通りである。

各州廳別死藏金取扱高調

州廳別	件数	総取扱量	推定價額
臺北州	27,526	2,009,893.89元	7,351,186.82元
新竹州	6,887	1,974,057.73元	7,220,114.46元
臺中州	47,500	5,264,153.33元	3,664,330.30元
臺南州	30,890	2,671,573.77元	3,785,706.85元
高雄州	34,695	2,760,141.71元	4,037,019.48元
花蓮港廳	4,246	2,943,372.66元	3,141,573.35元
臺東廳	864	2,290,507.07元	85,535.71元
澎湖廳	3,041	6,236,370.00元	124,475.19元
合計	155,649	9,075,431.10元	20,084,333.16元

(自六月二十日 至十月一日)

人種別調

(自六月二十日 至十月一日)

種別	件数	総取扱量	推定價額
内地人	10,507	2,400,800.33元	878,092.66元
本島人	145,143	5,251,184.65元	1,920,620.73元
外人	1	6.22元	22.77元
合計	155,649	7,658,091.20元	2,821,735.16元

銃後の經濟力は盤石

支那事變債券は賣切れ

銃後の經濟戰士の一齊射撃として全島に賣出した貯蓄債券は三萬九千枚であるが、その中郵便局の窓口を通じたのは一萬二千枚で他は勸業銀行其他銀行の發賣である。五日賣出しの窓口を開くと同時に賣切れの貼紙が出され押寄せた國民は何れも恨めしさうな足取で引退つた。之は長期戰體制下に於ける舉國一致八十億圓報國貯蓄運動に則して組織された各貯蓄組合よりの申込で羽が生えて飛んで了ふ熱誠振りによるためである。尙この

銃後の赤誠の結晶中に多くの在臺華僑が混つて居り日華提携の先端を行くほゞ、えましい風景を呈した。

表彰を受けた本島人元軍夫

高雄州岡山郡彌陀庄元軍夫許地、高雄州岡山郡路竹庄元軍夫馬川益の兩君は昭和十二年十一月二十八日軍夫として〇〇〇〇〇〇〇〇本年三月二十五日解除歸郷したものであるが今回〇〇〇〇司令官より「至誠奉公ノ念強ク終始一貫戰務ニ精勵シ衆ノ範トシテ推賞スルニ足ル」の表彰を

受けた。又許地君は飯島部隊長よりも表彰状を授與された。許君は今後國語講習生並に一般部落民に對し精神的に指導し、馬川益君は橋子頭製糖所に復職、夜間は國語講習所の講師として盡力することになった。孰れも險に浮ぶは出征軍人の至誠奉公振り、時々慰問品をいたゞいた。銃後の熱誠振り、益々日本精神の體験者として銃後の奉公に邁進するに決心し、破格の光榮に輝く面持であつた。

### 出征軍人の病める

#### 違家族に温い銃後の手

目下〇〇地で奮戦中の臺北市兒玉町三ノ八山崎正君（電力會社松山修理工場臨時備員）の長男は結核性腹膜炎で、二つになる長女も麻疹で大學病院に入院中更に兩兒の母サヨさん（二四）も九月半ば頃より急性盲腸炎を起して同院に入院、親子三名が同じ病院の病床で呻吟するに、いふ悲惨事に直面した。之に對する大學病院はその入院料を免除した許りでなくその兩兒の看護に對し酒井小兒

科醫院長を始め内臺人の看護婦一同が親代りとなり徹夜して看護した外、互に醃金し合つて牛乳等の滋養品を買ひ求め母子三名に與へ、聖なる温い手を伸ばした。長女は母親はその後全快して夫々退院したが長男は不幸にして九月三十日遂に死亡した。これに對し、松山修理工場からは臨時備員であるにも拘はらず澤山の見舞金と葬儀費を支出しサヨ夫人を感激させた。この大學病院職員は美譽は更に反響を呼び五日に遞信部工務課勤務の某氏は牛乳代三圓、更に銃後生を稱する一無名氏から同情ある手紙を添へて臺日报社に送つたので同社では直ちに山崎家に手渡した。（原文の儘）

十月四日附臺日紙朝刊御掲載の「病床に倒れた出征軍人の妻に温い銃後の手」の記事を拜讀し御國のために出征して戴いてゐる軍人の御家庭にはあゝした私達の知らない處に悲惨なお話が澤山ある事と思ひほんたうにお氣毒な事と思ひます。同封の金子は誠に輕少で御恥しい次第ですが山崎様の御長男志郎様の御佛前に御供へして戴く様に御手續き下さい。



### 臨時情報部

#### 中支大衆間に

##### 新流行語「鬼子兵」

—— 迷足早い支那兵を嘲ふ ——

最近我占領地域内の中支一帯に「鬼子兵」と云ふ言葉が流行してゐる。これは支那兵は鬼の様に逃げ足の早い兵隊だ云ふ意味である。

歴史的徐州會戰に敵は二十萬の兵力を失つたが、それ以前に大舉日軍來の聲に怯えた彼等の一部はいち早く算を亂して敗走をつゞけた。土民の服裝に姿をやつして、

我軍の目をくらましながら鬼の如く三々五々徐州落ちする敵兵もおびたゞしく見受けられた。

其頃から「鬼子兵」なる言葉が流行り出したのだが、當時はまだ大衆化しなかつた。それが蔣介石躍起の戦勝？宣傳も遂に化の皮が剥げ敵首府漢口の陥落も間近に迫つた今日遂に「鬼子兵」なる支那の言葉が普通化したのである。鬼子兵！その言葉の流行は南京、徐州に惨敗した抗日支那軍、蔣政權に對する支那民衆の認識が完全に改められた證左に外ならない。

百姓も姉娘達も兵隊さんから習ひ覺えた「露露の歌」を聲高らかに唱つて、たのもしい我軍に信頼の念を高めてゐるが、それを歌ひ終ると思出した様に「鬼子兵」こつぶやいて蒋介石軍の劣弱さを反射的に嘯棄してゐるこいふことだ。彼等は一齊に鬼子兵を吐き出して抗日支那軍を侮辱してゐる。

曾つて我軍が廣州を占領した時揚子江岸、廣州間鐵道はみる影もなく敵軍に破壊され、一本の枕木もなかつた。彼等が退却した時一本五十仙で附近民衆へ強制的に買りつけたからだ。われ／＼はやがてこの地方を挽回するだらう。その時は一本一冊で買つてやるから持つて來い。さういつて民衆から金を捧上げた敵兵だけに、いま貧しいこの地方民衆の抗日支那軍に對する恨みは深く「鬼子兵」なる言葉が流行を極めてゐる。そしてこの鬼子兵の流行と共に民衆の我軍に對する信頼は高まり一本々々鐵道修理班の我軍に枕木献上に來たこいふ。かくて「鬼子兵」なる言葉は中支一帯を席卷いてゐる。

#### 北上娘子軍の醜態と

#### 緊急婦女武裝令に對する恐怖

二四  
廣東、廣西兩省の緊急婦女武裝令による女徵兵は既婚未婚の別なく妊娠者以外は十七歳以上四十五歳まで全部徵兵検査の結果武裝される譯で大恐慌を來してゐる。去年十月廣西省が率先して女學生階級の娘子軍を組織し北上させ大に得意がつて居たが、其後戦地からの音信にて郷里父兄の許に真相が段々判明し前線に送られた娘子軍は戦争に關係なく全く前線將兵のおもちゃになつて居るだけで醜態を極めて居り、中にも李某女は廣西軍の營長陳某軍服をぬぎすて戀愛逃避行を演じ行衛不明となり其他にも戰場桃色遊戯で身を持崩して居るもの許りである。廣西の名將と言はれる李仙品の如きすら某女隊長に懸想し將軍の威光を極度に發揮して寵愛して居たが、合符將軍の護衛兵に好男子あり女隊長は人目を忍んで宜しく情意投合して居たのを將軍が発見し即座に男女とも銃殺して了つたのみならず、爾來將軍の娘子軍を憎むこいふ甚しく遂に黃梅戦に際しては娘子軍に男裝を命じ第一線の先頭に起させ背後に督戰隊を置いて逃げる女は撃殺すこいふ殘虐ぶりにて憐むべし此の方面の娘子軍一隊は全滅したこの評判が風の便りに廣西まで傳はり家族

は素より親戚朋輩なき悲歎を呪咀に狂氣の如くなつて居た。斯かる情勢の中に強制的な女子徵兵令が實施されることになつたので騒ぎは一段も二段も大きくなり女云ふ女は明けても暮れても泣き喚き如何にしても検査を免れんこいふ他郷逃亡を圖りて捕はるゝもの數知れず、去一日の身體検査日には田舎女は悉く古綿やボロを丸めて懷中に詰込み妊娠を假装したもの許りであつたが此等は残らず檢束處罰されることになつたので、今度は尼寺に通達むこいふを考へ出し我も／＼に俄尼僧が激増し二三日中に早くも附近の尼寺は超滿員の大盛況云ふ始末に關係當局を持餘して居るが此等の俄尼僧は一箇月以内に還俗歸家すべしと嚴命し違反者は嚴罰に處せらるゝこととなつたので最早や免るゝ工夫も盡き阿鼻叫喚の地獄が出現してゐるこいふことである。

#### 重傷兵を銃殺非道極まる支那軍規

最近江南戦線で捕へた捕虜の談による、蒋介石軍後方の軍規は紊亂を極め前線から護送されて來る傷病兵の手當等は全く顧みられず、左の如き非道悲惨な狀況が明か

まなつた。即ち江南戦線の陽新及び大冶附近の各道路には前線から後退する傷病兵で充満して居り之等患者の收容方法が不十分なため路上で死亡したもののだけでも既に二千五百を越えてゐる。之加再起不可能なつた重傷病兵は全部銃殺された。又南昌の傷生部員、醫藥材料等の缺乏の爲九月二十二、三の兩日間に百五十四名の死亡者を出し生存患者に非常な不安と恐怖を支へ動搖甚しく此の悲惨な狀況が附近駐屯軍隊にも強く反映し彼等の間には漸次反蔣機運が擴がり暴動化の機運さへ濃厚になりつゝある。

#### 支那軍督戰隊の青龍刀は閃く

——泣く泣く戦ふ敵兵——

皇軍疾風迅雷の進撃に武漢の陥落は時日の問題となつた折柄、抗日救國のニセ英雄蒋介石の狼狽は遂に頂點に達した。その爲めか後方戦線に於ける支那軍督戰隊の兇暴振りや言語に絶し不氣味な青龍刀をきらめかせて徵發兵の逃亡を鷹の目の様に警戒してゐる。光州攻略戦に我軍に捕へられた一俘虜の言に依るこ

戦線の兵士が少しでも後退しやうものなら青龍刀が一閃首ミ胸をバツサリ切斷して了ふので支那兵は今では泣く泣く戦つてゐるのだ云ふ。蔣介石の所謂抗日救國の言に躍らせて十八、九から二十一、二歳の青年兵が盲滅法に参戦してゐる事は、支那軍の遺棄死體の半分までが少年兵である點でが一日瞭然たるものあり、彼等は皇軍の突撃の前に登れるか督戦隊の銃彈の餌食になるかの憐れな運命なのである。そればかりではない蔣介石は地方青年團に働きかけ農村の間までも抗日意識を高めさせて居る。安徽河南のこんな僻村に行つても農家の壁に抗日文字が筆太に書きしるされてゐる。之れが徒らに支那民衆を苦しめる蔣介石の戦法だ。光州のある小学校に入つて見るに其處には抗日毎日の教材が堆く積まれてゐた。可憐な兒童まで抗日戦線に動員しよう云ふ淺ましい計畫なのである。此の外至る所目につくものは抗日パンフレット、ピラの行列だ。敗戦に次ぐ敗戦で無辜の民を塗炭の苦みに陥らせて居る蔣介石の憎むべき戦術が斯くて幾多同胞を戦野に殺して行くのである。

反蔣熱高まる山西軍

二六  
 續々と皇軍に投降  
 敗戦をひた隠しに隠して抗戦を叫ぶ蔣介石に對する反感は漸次高まり最近南部山西においては反蔣運動が熾烈化するに、もに皇軍に歸順する者續出しつ、あり、東鎮を中心としわが軍の後方攪亂を策してゐた紅槍會も歸順を申出で二十五日當地で盛大なる歸順式を舉行、五十四個所、五千餘名の紅槍會員が參集して鐵路愛護道路通信確保に協力し日本軍に忠誠を盡す旨を誓ひ又二十四日には元中央軍二十九師に屬しその後小西遊撃隊長として活躍してゐた王西誠が山砲、迫撃砲、機關銃を有する部下二千名を率いて歸順するなご投降者續出皇軍に協力して山西の治安維持工作に當つてゐる。  
 又東鎮附近紅槍會匪の歸順に次で横水鎮附近一帯の四十五個所に蟻踞する約三千の紅槍會匪も進んで歸順を申込み二十六日盛大な歸順式が舉行された。この外山西軍も續々投降中であり、民衆は勿論のこゝ支那軍中に蔣介石を見離し皇軍に協力し従軍の軍閥の擡取に横暴に憤激して眞に安住の地を建設せんとする氣運が日に日に濃厚化しつ、あるこゝは異常な注目を惹いてゐる。



臨時情報部

島

高雄華僑

慰問金募集

内

高雄華僑新民公會では厦門の皇軍慰問を行ふ事となり直に市内在留華僑に檄を飛ばして慰問金募集中である。

臺北華僑新民公會

貯蓄債券買入

臺北華僑公會では我が國策に順應し在臺華僑としての

花蓮港華僑

慰問金、救恤金募集狀況

花蓮港華僑同鄉會では臺灣華僑新民總會の主催に係る皇軍慰問金及黄河決潰罹災民救恤金募集中の處去る十

月二十四日締切つたが募集金額百八十六圓五十錢、應募者數三百七人の多き上つた。

## 島 比島に昇る親日熱にて 在留華僑も覺醒

日本國民の象徴である武士道の精神を稱揚しこの精神を採擇比島人の公民規範、道德法典を制定すべく目下着々準備を進めてゐるクソン大統領は今回の日本旅行で非常時下の我が國民に接觸するに及んで益々日本國民の偉大さを認識する所あり、一方マニラ人の間には我々の祖先は日本人と同種であり、日本兄弟云々説が強く行はれ若い娘などは邦人の處に来て日本人の血の繋りである云云ふ事を自慢にする者が多くなつたといふ兆候あり又マニラ政府の相當官吏で年齢も五十位の人が今から日本語を毎週二時間位習いたい云云ふ者がある、斯くして比島に昇る親日熱により在留華僑も愈々覺醒して來た。

即ちマニラ在住の華僑商人と邦人間には排日はないが

唯何處にもある政治ゴロが居て財産家の華僑の店は献金割當を強制して最早數回に互り献金を餘儀なくさせられてゐる、若し断れば漢奸呼ばりして營業の妨害をされるので止むなくこれに應じて居る者が多く困つたものだこの話であるが今はこの種の脅迫も親日熱の下では恐くなくなつて來た。又日本人が商用で華僑の店を訪ふ事も大に遠慮して居るのであるが或る店では數日前献金をしたばかりだから今は日本人が店に居ても大丈夫だ云云ふて公然と日本人を往來する様になつた。

### 一般華僑も英斷に感謝

抗日團大檢舉 (新嘉坡)

連日に亘る島内排日秘密結社員の大檢舉は過去一箇年間日貨排斥の強制、脅迫的献金募集等此等排日結社の横行に極度に惱まされた一般華僑の間にさへ快哉を叫んでゐる者が多い。警察當局今回の檢舉の理由は尙發表されてゐないが、去る八月二十二日の政府聲明にも明らかにされた如く此等排日諸團體が凡ゆる脅迫手段を以て秩序

安寧を擾亂しつゝ、あつた事は明瞭であつて、去る七月初め以來新嘉坡を始め半島各地に續發した勞働爭議の如きも全く此等排日團體が裏面に在つて操つたものであることが判明したと傳へられる。而も秘密結社たる排日諸團體が當地の華僑籌賑祖國難民大會と稱する救國寄附金募集團體を通じて國民政府の指令に依つて活躍して居た事實が去る五月初め以來當地支那新聞紙上に現はれた記事に依つて暴露されてゐる事は注目される。

即ち六月十八日附星中日報紙は「中華青年急進救亡協會なる團體が、新嘉坡に於て活動して居るが同團體の正體に付中華總領事館に於て國民政府海外部に照會せる結果、右は中央政府の認可を得たもので無く全く愛國運動に名を藉つて寄附金を詐取せんとする偽團體であること判明し、この旨總領事館より通告を發して一般華僑に注意を促したと報じ、更に同日附紙上に於て中華救護會幹事長が廣東省政府の認可を得たこと稱して寄附金募集、廣東省政府に照會の結果此れ亦偽物であること判明した。

右は今回有力指導者の檢舉を見た抗日秘密結社が籌賑祖國難民大會乃至は國民政府の認可を得て、その指令下に堂々活躍して居たものなることを語るものであつて、この點今回の檢舉は頗る注目されて居るが、しかも其の本物と偽物何れに拘らず抗日救國、抗戰建設等の名に隠れて華僑大部分の意志に反する強制脅迫的献金募集を目標とする彼等のギャング的行爲は全く其軌を一にしてゐる事は、今回の檢舉に明かにされた理であつて今回の政府當局の大英斷的檢舉に對し一般華僑は何れも感謝し安堵の胸を撫で下してゐる次第である。

### 排日貨は 天に向つて唾する類

新嘉坡地方に於て日貨排斥の徹底化の爲め現在日軍占領地帯方面よりする商品をも日貨として排斥を加へつゝ、ありしが此中には中國人日常生活に不可欠の商品多數があり、之等商品の輸入を缺く時は生活に支障を來す事になるので特例を設けられ度き由を香港の商總會方面に運



### 在外華僑の 懷中を狙ふ

國民政府は豫て西南各省の經濟開發を促進する爲め西南經濟開發委員會を設立、孔祥熙を委員長に張群を副委員長に、又各省政府首腦を委員として着々事業遂行中であつたが、國民政府は更に同委員會の權能を擴大し同様の目的を有する西南經濟調整委員會を設けることとなり七日之が成立を見た。同委員會の首席には蔣介石自ら就任し孔祥熙及び張群が副主席に任命された。國民政府が調整委員會を設けることは西南各省の經濟開發に諸外國の資本投下を行はしめるに好都合ならしめ且つ在外華僑の送金を大ならしめんとする魂膽を見られ今後の成行は極めて注目される。

動し來りつゝあり、今後我が軍の漢口廣東占領が實現せられる場合此處より輸出する商品の全部に日貨同様の排斥を實行するにすれば海外華僑は全部没落の悲況に沈淪するこゝになる。之を以て見るも國民政府權下の排日運動は天に向つて唾するの類である。

### 二百人の孤兒 豫告無くして香港へ

蔣介石の無謀な對日抗戰のために親を失つた孤兒は其の數幾萬に達し寒さに向ふ今日此頃食料衣類の缺乏せる漢口では是等の孤兒を如何にもする事が出來ず、この程出しぬげに二百人を香港に送つて來たが香港にても等の兒童を引受けるには何等の設備も方法もない爲め、今後無限に來るのを恐れて漢口政府に向つて孤兒を引受けたら良からうと云つて居る由である。



### 臨時情報部

九月十六日

1. 商城占領  
我が軍息もつかせず敗敵を急追、同地西方二軒の曲河東岸に進出せり。
2. 光州城東端の一角占領、引續き城内の敵を掃蕩中
3. 湖北省に突入の我が軍逐次前面の敵を撃破早くも陽新七里の地點に迫れり。
4. 隘口街攻防戦  
我が軍の進出目覺ましく同地死守の敵は愈々殲滅の悲運に陥れり。
5. 我が海軍陸戰隊吳村に敵前上陸を執行、江上艦艇

九月十七日

1. 光州城内の殘敵を掃蕩中の我が軍南北兩城を完全に占領せり。
2. 武穴鎮要塞占領  
敵の損害は致命的にして我が江上艦艇の溯江進撃作戦は今後益々有利になれり。
3. 武漢北部防衛の二大據點商城、光州の陥落により我が北部戦線の狀況は將に一大進展を見るべく、これに狼狽せる敵は早くも信陽方面に兵力を集結中なり。
4. 海の荒鷲……  
1、中支方面—武穴、田家鎮方面の我が地上部隊に協力縱横無盡の活躍をなせる外瑞昌、陽新聞の山岳地帯に據る頑敵を徹底的に爆撃せり。

ロ、南支方面―桂林、梧州、虎門飛行場並に粵漢、廣九兩鐵路の要所を爆破せり。

九月十八日

1. 九・一八滿洲事變記念日―武漢攻略大いに進み愈々皇國民の大建設に邁進すべき秋到れり。
2. 光州より西方へ進撃する我が軍益々驚異的快速振りを發揮し早くも羅山へ十二杆に進出せり。
3. 商城よりの我が軍光州、麻城間の敵主要陣地沙窩へ僅か八杆に肉薄せり。
4. 瑞昌西部長江南岸に破竹の進撃をなしつ、ある我が軍富池口東南十六杆の敵據點を撃破更に附近一帯に互り戦果を擴張中なり。
5. 我が海軍航空隊廣東、廣西兩省内の各地を急襲、柳州に於ては飛行場内の航空施設を跡形もなきまでに爆破せり。

九月十九日

羅山刻々危険に迫る……

1. 羅山攻撃の我が軍竹竿河を渡り同地七杆に肉薄せり。

爆破せり。

- ロ、海の荒鷲―廣西省桂林を空襲敵に多大の損害を與へたる外粵漢、廣九兩鐵路各所を破壊せり。
4. 黃河北岸の我が軍突如行動を起し鐵關渡附近の敵陣地に猛砲撃を加へつ、渡河を決行黃河中流の中州を占領せり。
5. 我が軍の武穴攻略により俄かに狼狽せる敵は續々田家鎮に兵力を集結防備を強化しつ、あり。

九月二十一日

1. 羅山縣城完全占領。我が軍なほも敗敵を追撃中なり。
2. 光州より西北に進軍の我が軍神速部隊息縣を占領せり。
3. 新店攻撃の我が軍同地附近一帯を占領、なほも敵を南方に急追中なり。
4. 江南戰線湖北省内を進撃の我が軍木石港附近に進出せり。
5. 我が海軍航空隊は長驅廣東省西南端の要衝欽縣を空襲敵軍事施設を完膚なきまでに爆破せり。

り。

2. 商城南方に作戦の我が軍商城、麻城街道の大別山系登攀口を扼する要害新店を猛撃中なり。
3. 武漢防禦第一線既に悉く破れし國府軍當局は愈々我が軍の武漢突入を豫期し最近頻りに漢口市内の防備強化をなしつ、あり。

4. 中國臨時政府は漢口陥落後の新事態に即應するため政府機構の擴充強化をなせり。
5. 國際聯盟理事會は同規約第十七條第一項に基き帝國政府に日支紛争事件解決のため勸誘狀を發せり。

九月二十日

1. 光州より南方に進撃の我が軍光山縣城を占領せり。
2. 我が軍沙窩附近一帯を占領、麻城の敵に一大脅威を與へり。

3. 荒鷲部隊の活躍！

1. 陸の荒鷲―信陽を急襲、新停車場、貨車群等を

6. 帝國政府は曩に國際聯盟より接受せる勸誘を斷乎拒絶するこゝに決定せり。

九月二十二日

1. 我が軍、木石港を占領せり。
2. 沙窩より更に南進せる我が部隊は省境に向け大いに戦果を擴張中なり。
3. 海軍航空隊の活躍……  
1. 中支方面―黃石港上流五哩關、溪鎮に於て敵艦艇有型一隻を撃沈せり。

ロ、南支方面―廣東、廣西各地の敵主要軍事施設を爆破せる外粵漢線蕪江口及び源潭附近の鐵橋を爆破せり。

4. 中華民國臨時政府及び維新政府は將來新中央政府の成立を容易ならしめ且つ兩政府共通政務の統制連絡を計る爲北京に中華民國政府聯合委員會を設立せり。

九月二十三日

1. 湖北省東南、山岳地帯を進撃の我が軍敗敵を追ひ

つ、陽新に迫れり。

2. 廣濟戰線は我が軍のため頗る有利に進展し、敵は蕪春、漕家鎮、蕪水方面に第二線の全兵力を擧げて防戦に努めつゝあり。

3. 江北江南各戦線に於ける我が軍の戦果左の如し。

1、大別山北麓方面（八月二十八日より九月十七日に至る光州、商城攻略までの判明せる分）

敵の遺棄死體 一萬二千 捕虜 三百五十四

鹵獲品 迫撃砲一三 平射砲一 重機關銃一五

輕機關銃百一

口、廣濟、瑞昌方面（八月二十日より九月十七日に至る判明せる分）

敵の遺棄死體 四萬七千二百十二

鹵獲品 野砲二〇 迫撃砲二五 連射砲四

山砲一一 機關砲二 重機關銃六四

輕機關銃百四十一

九月二十四日

1. 我が軍は田家鎮東南四軒の要害富池口を占領せり。

2. 我が軍彭山（木石港の西北方二里）を占領、陽新を指呼の間に望みつゝ、なほも猛進撃を續け先頭部隊は早くも蕪漢線まで二十五里に進出せり。

3. 抗弾南方の殘敵に對する我が軍の掃蕩工作は其の後益々積極の度を加へ錢塘江畔秋冷の曠野に砲聲殷々たり。

九月二十五日

1. 陽新西方に進出せる我が軍は逐次前面の敵を擊破、驚異的進撃をなしつゝあり。

2. 我が海軍航空隊の活動！

1、中支方面―武漢及び宋埠（麻城西南）を強襲、敵の作戰據點に潰滅的打撃を與へたり。

口、南支方面―貴州省貴陽に初の大空襲を執行敵軍施設を痛烈に爆撃せり。

3. 錢塘江岸に作戦中の我が軍富陽西方及び同南方一帯に蟻踞する敵に對し全面的掃蕩の火蓋を切れり。

4. 蔣介石重慶市民に退去命令を發し防空其他の軍事施設の充實に狂奔しつゝあり。（以下次號）

昭和十三年十月九日印刷  
昭和十三年十月十一日發行  
(月三回發行)

### 臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地  
印刷人 加藤 豊吉

臺北市京町一丁目四十三番地  
印刷所 小塚本店印刷工場